

名寄市立総合病院

回 覧



サポート ニュース

病院、そして地域とともに



私たち名寄市立総合病院サポートクラブは『市立病院と市民、地域との架け橋』を合言葉に活動を続けています。

病院を訪れるすべての人の心の癒しとなることを願い、毎年、駐車場出入口周辺に花を飾り(写真下)、12月には市内の音楽関係団体に協力をいただきクリスマスコンサート(写真上)を開催しています。

また、市内で開催される病院関係イベントへの協力を行っています。

昨年11月26日に名寄市立大学で開催された「ナースカフェ」(看護師・看護学生交流会)にも田畑忠行代表が参加してきました(写真中)。



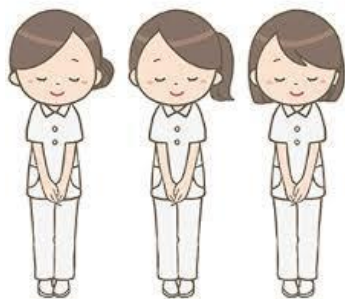
これからも、決して背伸びをせず、奢らず道北地方のセンター病院である名寄市立総合病院を市民レベルで支える会として活動を続けていきます。



市民の皆さん、地域の皆さんの中で私たちと一緒に活動を望む皆さんは、ぜひお申し出ください。



サポートクラブからのお願い



近年、医師や看護師など医療スタッフの過労が問題視されていますが、その大きな原因の一つとなっているのが『コンビニ受診』です。

『コンビニ受診』とは、一般的に外来診療をやっていない休日や夜間に緊急性のない軽症患者が、病院の救急外来を自己都合で受診する行為と言われています。

名寄市立総合病院は、名寄市のみならず上川北部や宗谷地域等の皆さんの命と健康を守るため、職員一丸となり日々診療や看病にご尽力いただいているところですが、一方では、名寄市立総合病院に限らず、大都市を除いた全国的な地方病院の状況として『医療スタッフ』の確保に課題を抱えています。

限られたスタッフの中にあっても、患者や家族が安心できる治療と看護を目指している名寄市立総合病院であるため、私たち市民一人ひとりが各診療科の診療体制を理解し、決められた時間内での受診を心掛けることに、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

※名寄市立総合病院では受診される専門診療科によって、予約の方法が異なります。

神経内科、糖尿病・代謝内科、眼科及び泌尿器科は完全予約制、その他一部の診療科では予約制となっておりますのでご注意願います



コンビニ受診防止に協力を

会費は個人年額 2,000 円、事業所・団体同 5,000 円

発行 名寄市立総合病院サポートクラブ
代表 田畑 忠行
事務局 名寄商工会議所内

クラブ員募集